

4分岐用ヘッダー (CMY-Y104DG1)
8分岐用ヘッダー (CMY-Y108DG1)
10分岐用ヘッダー (CMY-Y1010DG1)

取付説明書 (販売店・工事店様用)

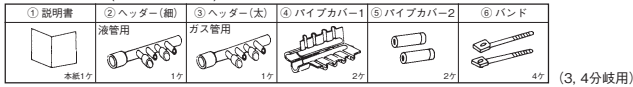
注1. 2分岐の場合は2分岐用別売品をご使用ください。

別売部品

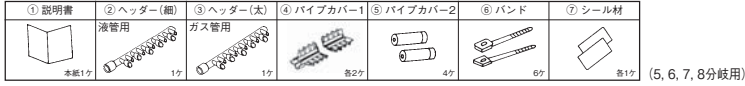
ご注意
分岐管の種類及び接続配管のサイズを間違えますと、空調機が所定の能力を発揮することができません。
施工に際しましてはこの取付説明書を良くお読みになり、確実な工事を行っていただきますようお願いいたします。

① 箱の中には下記が入っています。作業を始める前にご確認ください。

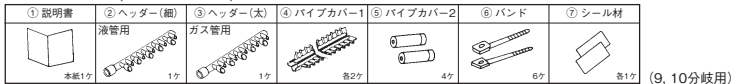
4分岐用ヘッダー (CMY-Y104DG1)



8分岐用ヘッダー (CMY-Y108DG1)



10分岐用ヘッダー (CMY-Y1010DG1)

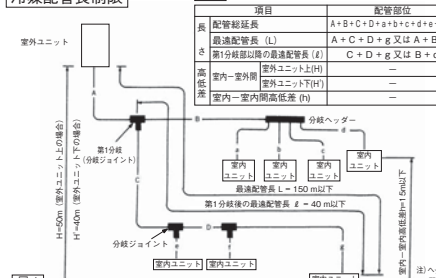


注1) 上記以外にも次の物を現地に手配して下さい。① 断熱材シールテープ ② 冷媒管路延長パイプ

② 下記のことにご注意して作業を行ってください。

- 1. [表3]の冷媒配管長制限を守ってください。ヘッダー分岐後の再分岐はできません。必ず室内ユニットに接続してください。
- 2. [表4]の室内ユニット取付制限を守ってください。
- 3. ヘッダーと配管、又はプラグ・パイプとの接続はろう付で行ってください。ろう付は無酸化ろう付で行ってください。
- 4. ヘッダーにはストッパーが付いています。接続するパイプが止まるまで押し込んでください。
- 5. ヘッダーの取付姿勢についての制約はありません。
- 6. 配管接続作業の際、配管内部にゴミ等の異物が入らないようにしてください。
- 7. 冷媒配管には全て断熱材を施工してください。

冷媒配管長制限



室内ユニット取付制限 (PUHYの例)

Table with columns for indoor unit types (140, 160, 224, etc.) and connection status (接続可能/不可).

③ 冷媒配管サイズの選定及びヘッダーの使い方

- 1. 接続する配管は現地にて手配してください。
- 2. 各部の配管サイズを[表5][表6][表7]により決定してください。
- 3. ヘッダーは2項で選んだ全ての配管サイズに接続できるようになっています。配管サイズに合うように①標準を使う。
- 4. ②補助パイプで接続を使う。ことにより可能となります。
- 5. [表3]および[表5]～[表12]を参照して実施してください。
- 6. ヘッダーの検査で使用しない箇所は付属のプラグ1～5で口止めしてください。

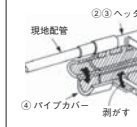
表5) 室外ユニット-第1分岐部間の配管サイズ (図1-A)

表6) 分岐部-分岐部間の配管サイズ (図1-B-C-D)

表7) 分岐部-室内ユニット間の配管サイズ (図1-a-g)

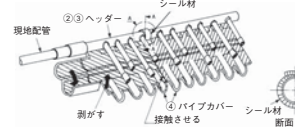
④ パイプカパー (断熱材) の取付作業

(i) CMY-Y104DG1



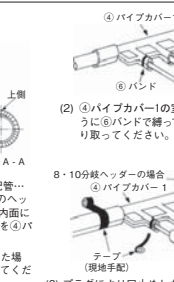
- 1) ②③ヘッダー(細) (太)を④パイプカバー(2ヶ)にそれぞれを納めた後、④パイプカバーの内面に張りつけてあるハクリ紙を剥がし②③ヘッダー(細) (太)を④パイプカバー1ではさみ込むようにしてください。

(ii) CMY-Y108DG1
CMY-Y1010DG1



- 1) ②③ヘッダー(細) (太)のA部に⑦シール材を巻き⑧配管...シール材(小)、太い配管...シール材(大)、それぞれヘッダーを④パイプカバーに納めた後、④パイプカバーの内面に張りつけてあるハクリ紙を剥がし②③ヘッダー(細) (太)を④パイプカバー1ではさみ込むようにしてください。

注. シール材の重要な部分は、8、10分岐ヘッダーを設けた場合、かならず上側になるようシール材をヘッダーに巻くください。



- 2) ④パイプカバー1の室内側分岐部の両端を上図のよう⑩バンドで縛ってください。バンドの残分は切り取ってください。
- 3) プラグにより口止めた部分には⑤パイプカバー2を取り付けてください。パイプカバーの突合わせ部分はテープ(現地手配)にししっかりシールしてください。(シールが不完全だと、露タレの原因となります)

※1 PLZD-KP280、PCZD-KP280の場合、パイプ10接続
※2 PLZD-KP280、PCZD-KP280の場合、パイプ9接続